



高層ビル等に大きな揺れをもたらす長周期地震動への対策として、気象庁は緊急地震速報に長周期地震動階級を新たに追加して発表するとともに観測した情報の発表速度を迅速化します。

発行：府中市 編集：総務管理部防災危機管理課
〒183-0056 府中市寿町1-5 中央防災センター
電話：042-335-4098 FAX：042-335-6395
メールアドレス：bousai01@city.fuchu.tokyo.jp

長周期地震動に関する情報提供が開始されます

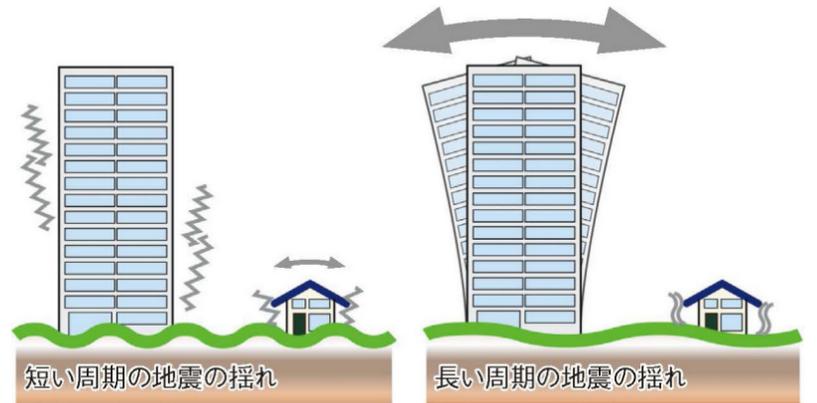
令和5年2月1日より緊急地震速報による運用を開始

地震には様々な周期※をもった揺れが含まれていて、特に大規模な地震になると周期の長いゆっくりとした揺れが発生します。

このような揺れを**長周期地震動**といい、遠くまで伝わりやすい性質があります。

また、建物には高さにより揺れやすい固有周期があり、地面の揺れの周期と建物の固有周期が一致すると共振して長い間大きく揺れることがあります。

一般的に高い建物ほど長い固有周期をもっていて、高層階になるほど大きく揺れる傾向があるため、室内の家具類等が転倒・移動したり、エレベーターの損傷や安全装置の作動により停止してしまうことがあります。



※ここでいう「周期」は、揺れが1往復するのにかかる時間。
出展 政府地震調査研究推進本部 素材集より

<h4>階級1</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。 	<h4>階級2</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ●キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
<h4>階級3</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<h4>階級4</h4> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ●キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。

出展 気象庁Webサイト

震源が遠くても大揺れの危険

■長周期地震動階級
震度で表わすことが出来ない長周期地震動の揺れに対する指標として、気象庁は平成25年3月に長周期地震動階級を定めています。
長周期地震動階級が3〜4の揺れともなると、家具の転倒・移動により大きな被害が発生するおそれがあることから、緊急地震速報の基準に加えられることとなります。

長周期地震動に伴う緊急地震速報

発表条件

長周期地震動階級3以上と予想される地域がある場合

対象地域

長周期地震動階級3以上を予想した地域

長周期地震動の被害

◆十勝沖地震 2003年9月 M8.0

震源から約250km離れた苫小牧市の石油コンビナートで石油タンクの石油が揺動する現象（スラッシング）が発生したため、石油タンクの浮き屋根が沈没してしまい、その際に起きた静電気が原因で火災が発生しました。



出展 気象庁Webサイト(長周期地震動による被害)より

◆東北地方太平洋沖地震 2011年3月 M9.0

都内の高層ビルで大きな揺れを観測し、震源から約700km離れた大阪市(最大震度3)の高層ビルではエレベーターの停止による閉じ込め、内装材や防火扉の破損などが発生しました。



出展 気象庁Webサイト(長周期地震動による被害)より

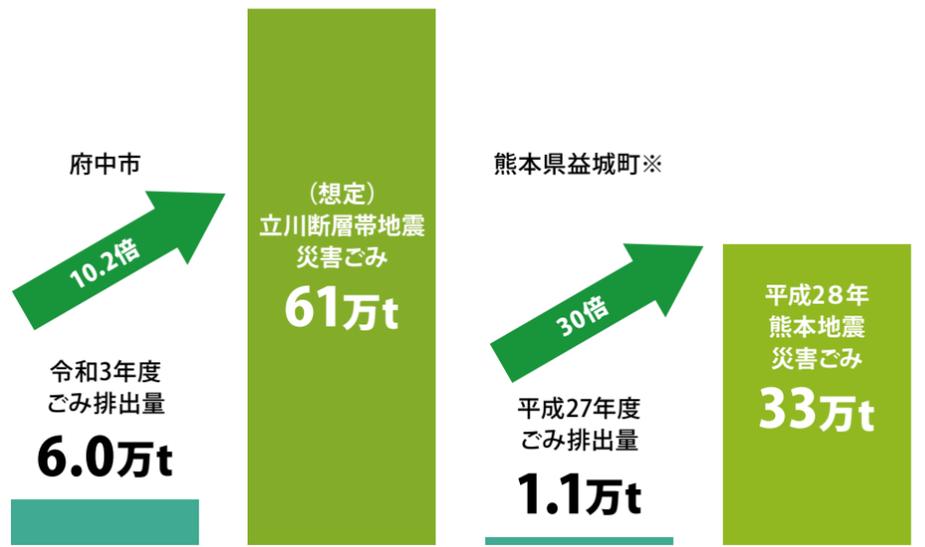
災害ごみ

大規模な地震や水害が起こると、壊れた家具や家電などの片付けごみやガレキといった災害ごみが大量に発生します。

府中市災害廃棄物処理計画(令和2年1月作成)では、府中市に想定される立川断層帯地震により発生する災害ごみの量は、平時に年間で排出されるごみの量の10.2倍と算出されています。

災害の規模によっては処理に数年を要することもあるため、市民一人ひとりが災害ごみの分別や排出ルールを守る必要があります。

平常時のごみ排出量と災害ごみ排出量の比較



※出典 益城町「平成28年熊本地震による益城町災害廃棄物処理事業記録」

災害時は、市のごみ出し情報を確認してから「災害ごみ」と「生活ごみ」を適切に分別する

災害ごみの分別例

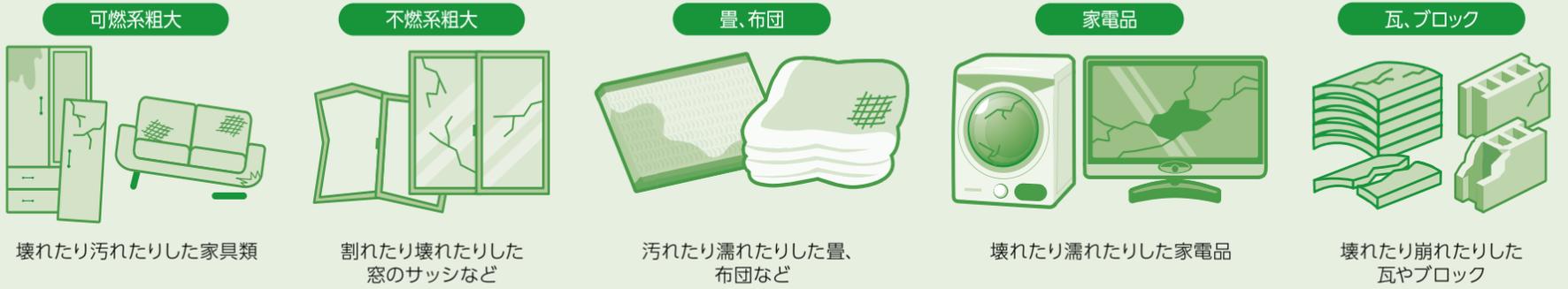
地震や水害などの災害によって被災し、汚損や破損、水没等により使用できなくなった家財等が災害ごみとなります。

災害の種類によって発生する災害ごみの傾向が大きく異なるため、災害が発生した場合は市がお知らせするごみの排出ルールを確認してから分別を行うようお願いします。

※以下に示した分別例の他にも必要に応じて分別をお願いします。

生活ごみの分別

災害時でも人が生活するうえで生活ごみは必ず発生します。原則、生活ごみの分別や排出方法は災害時においても変わりません。(被災状況によっては変更する場合があります。)



災害ごみの分別作業はここに注意!

災害ごみの分別に関して

- 冷蔵庫やたんす、びん、缶などの中身は全て取り出す。
- 生ごみは生活ごみとして排出する。
- 土砂や流木、石、コンクリート片は分けておく。
- 割れたガラスなど鋭利なものは新聞紙などに包み「危険」と書く。

分別作業や排出作業に関して

- 作業は帽子やマスク、手袋、長靴などを装着して怪我のないようにする。
- 暑い時期は、こまめな水分補給と休息をとって熱中症に気をつける。

火災の原因になるごみに気を付けて

- 小型充電式電池や充電式の小型家電は、中身の入ったライターやストーブ、スプレー缶、ガスボンベと同じ「危険ごみ」で排出する。

適切な分別を行わずに災害ごみや生活ごみを排出すると、ごみの収集や分別に時間がかかってしまい、悪臭や害虫が発生して環境の悪化や感染症が蔓延する原因となります。

また、ごみの収集や分別、処理に時間と手間がかかることで、経費が大幅に増加してしまいます。

市からお知らせがある前でも **災害ごみ** と **生活ごみ** は分別しておきましょう。



出典 環境省災害廃棄物対策フォトチャンネル(熊本地震)

リサちゃん

市のごみ出し情報を確認してから 「災害ごみ」と「生活ごみ」を排出する

府中市リサイクルマスコットキャラクター



- 災害発生後に市からお知らせするごみ出し情報を確認して、ごみの排出ルールに従って排出しましょう。
- 土砂や建物の損壊により発生したガレキなども、市からお知らせするごみ出し情報を確認して排出しましょう。
- 生活ごみは災害ごみと区別して排出します。(災害で発生した生ごみは、悪臭や害虫の発生を防止するため生活ごみとして排出してください。)
- 便乗ごみ(災害と関係なく発生したごみ)の排出や不法投棄、野焼きは絶対にしないでください。

生活ごみ

原則、通常のごみ出し場所に排出

道路やごみ処理施設が被災すると数日間、ごみを収集できなくなる場合があります。そのようなときは、収集体制が復旧するまで自宅で保管してください。

腐敗しやすい
燃やすごみから
収集

燃やさないごみや資源ごみなど
腐敗しないごみは、
市からお知らせがあるまで**自宅で保管**

災害ごみ

市がお知らせする方法により排出

ごみ収集車による回収

ごみを持ち込める場所や種類については、災害発生後に市からお知らせするごみの排出ルールに従って災害ごみを排出しましょう。

市がお知らせした地区集積所や仮置場※に持ち込む

道路上に排出しない!

道路上に災害ごみを排出すると、不法投棄の温床になるばかりか、緊急自動車の通行を妨げ災害活動の支障となってしまいます。

出典 環境省災害廃棄物対策フォトチャンネル(熊本地震)

※仮置場とは、災害ごみを一時的に保管しておく場所の名称です。

出典 環境省災害廃棄物対策フォトチャンネル(左:熊本地震 右:北海道胆振東部地震)

ごみの分別は復旧・復興スピードにも影響

■災害ごみ受け入れ訓練

府中市(資源循環推進課)では、「人吉モデル」を参考にした災害廃棄物の受け入れ訓練を実施しました。

災害からの早期復興を進めるためには、災害ごみの適切な「分別」と「排出」は欠かせません。

荷卸し時間がかかる原因はトラックへの混載です!

早く荷卸しが可能な災害ごみ(良い事例)

下の写真のように、ごみの種類ごとに分けて積み込みます。おろし場所が1箇所になるため、荷卸しの作業をスムーズにすることができます。また、積載が崩れる場合もありますので、ご了承ください。

ご案内が早くなります

荷卸しに時間がかかる災害ごみ(悪い事例)

下の写真のように、様々な種類の災害ごみを一度に積み込みます。おろし場所が複数箇所になるため、荷卸しに時間がかかります。また、積載が崩れる場合もありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】人吉市役所 市民部環境課 廃棄物対策係
電話番号:0966-22-2111(内線2711) ファクス番号:0966-24-9536

出典 熊本県人吉市 (令和2年7月豪雨災害の際に人吉市が使用したチラシ)

■災害ごみ排出の先進事例「人吉モデル」

令和2年7月豪雨で球磨川が氾濫した熊本県人吉市では、当時、市内の約3分の1の家屋が浸水しました。発災からわずか2日で災害ごみの仮置場が開設されましたが、ごみを持ち込む市民の車両が殺到して、半日以上かけても仮置場に辿り着けないほどの大渋滞となりました。

渋滞の主な原因は、災害ごみを持ち込む車両に様々なごみが分別されずに積載されていたため、仮置場での荷降ろしに多くの手間と時間がかかったからでした。

そこで人吉市は、災害ごみの受け入れをスムーズに行うため、分別した災害ごみ1種類のみを積載した車両に限り優先して仮置場に受け入れることを市民に周知したところ、人吉市民は近所で協力し合い、災害ごみを分別して車両に積載しはじめました。

その結果、仮置場での荷降ろし時間が大幅に短縮し、仮置場で1日に受け入れる災害ごみの量が増加しました。

自主防災ふちゅう検定



目指せ 地震防災スペシャリスト!

地震防災に関する正しい知識をどれだけ理解しているか自主防災ふちゅう検定で確認してみましょう。この検定で必要な知識を身に付けて、家庭や地域、職場での防災対策の向上を目指しましょう。

正解の数であなたの
自主防災レベルを
確認しましょう。

問題1 地震の揺れで最も危険なのは火災である はい いいえ	問題2 非常食は保存期間が長いものを重視して揃えておくのが重要だ はい いいえ	問題3 府中市が指定する避難所は安全なので直ぐに入ることができる はい いいえ
問題4 地震発生後に火災の発生を予防するにはブレーカーを落とすのが有効だ はい いいえ	問題5 車中泊避難は感染症対策やプライバシーが確保できるのでリスクがない はい いいえ	問題6 119番が繋がらない場合は消防署に直接助けを求めに行くのが有効だ はい いいえ
問題7 耐震性能評価の高い住宅であれば、特に他の対策はしなくても大丈夫だ はい いいえ	問題8 避難所には食料や日用品などの備えがあるから何も用意しなくてよい はい いいえ	問題9 災害時の情報収集はSNSが繋がりがやすく信頼性がある はい いいえ
問題10 揺れを感じたら直ぐに扉を開けて避難路を確保することが重要だ はい いいえ	問題11 長時間、重い物の下敷きになっていた人を助けた場合は、怪我がなくても病院に搬送する はい いいえ	問題12 地震が起きたら急いで家族と合流すべきだ はい いいえ

正解が12~11個のあなたは防災スペシャリスト 防災の正しい知識と行動を把握しているあなたは、危険を回避し、自分や家族をしっかり守ることができる防災スペシャリストです。	正解が10~9個のあなたは防災上級者 防災知識を持ち合わせたあなたは命を守る防災行動をとることができるでしょう。防災スペシャリストまであと一歩です。	正解が8~5個のあなたは防災一般レベル あなたはある程度の防災知識を持ち合わせています。さらに高みを目指して自分や家族を守る知識を身に付けましょう。	正解が4~0個のあなたは防災初心者 地震防災の正しい知識を身に付けて、自分や家族の命を災害から守れるよう今から学んでいきましょう。
--	--	--	---

府中市避難行動要支援者 避難支援プランを策定しました

過去の震災や水害では、避難に支援が必要な高齢者や障害者の多くが逃げ遅れ等で犠牲となっています。

このことから、市では高齢者や障害者などいわゆる避難行動要支援者の避難支援対策についての基本的な考え方をまとめた「府中市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)」を策定しました。これにより実効性のある避難支援体制の構築を進めていきます。

「想定内」の備えは出来ていますか?

過去の震災では、建物の倒壊や火災、家具類の転倒・落下、ブロック塀の崩壊、液状化、大規模停電や断水など様々な被害が発生し、その度に多くの犠牲者や負傷者が発生しています。

これらの被害はすでに想定できるものであり、「こんなはずではなかった」と後悔しないようしっかり備えておくことが求められます。

- エレベータに数日間閉じ込められた
- 断水で1週間お風呂に入れなかった
- 非常食の賞味期限が切れていた
- 119番が繋がらず、救急車が来なかった
- お風呂の残り湯をトイレに流したら下の階で吹き出した
- 家具が倒れて家族が大怪我をした
- 電車が止まって帰宅できなかった
- ブロック塀が崩れて怪我人がでた
- 子どもを迎えに行くことが出来なかった

▼自主防災ふちゅう検定のごたえ

- | | | |
|---|--|--|
| Q1. いいえ
解説 地震の揺れで最も危険なのは建物の倒壊です。わずかに十数秒の揺れで建物が倒壊したら命を守ることは極めて困難です。なお、火災は避難する猶予があります。 | Q2. いいえ
解説 非常食は栄養バランスや味、食べ易さ等を重視して備蓄しましょう。食べてみて不味かったら、とても辛いです。備蓄の前に試食もしておきましょう。 | Q3. いいえ
解説 大地震では避難所となる施設が被災するケースも少なくありません。また、避難所の安全が確認できるまでは、中に入ることができない場合があります。 |
| Q4. はい
解説 地震で大規模な停電が発生すると、停電の復旧時に倒れた電化製品から出火することが確認されています。 | Q5. いいえ
解説 車中泊避難は、長時間同じ姿勢でいることが多く、エコノミー症候群(血栓ができて血管が詰まる)などの健康被害が起こるリスクが高まります。 | Q6. いいえ
解説 大地震では要救助者や火災が同時多発的に発生するため、消防署に駆け付けても対応できる隊員がすべて出動していることが想定されます。 |
| Q7. いいえ
解説 阪神・淡路大震災では、怪我の原因の7割が家具類の転倒や落下です。また、建物の外観に目立った被害がないと、家の中で救助が必要な方の発見が遅れる恐れがあります。 | Q8. いいえ
解説 市の備蓄は、自宅が倒壊や火災で焼失し、着の身着のまま避難してきた方の支援を想定しているため、市民全員の備蓄はありません。 | Q9. いいえ
解説 SNSは間違った情報やフェイクニュースが出回る可能性があります。できるだけ、公的機関など信頼できる発信元の情報を確認するようにしましょう。 |
| Q10. いいえ
解説 揺れのなかで行動するのは極めて危険です。机の下に潜るなど、その場で出来る命を守る最善の行動をとってください。 | Q11. はい
解説 足や腕が長時間圧迫されると体内に毒素が発生し、圧迫が緩むと毒素が血液をめぐって心臓停止などを引き起こす「クラッシュシンドローム」になることがあります。 | Q12. いいえ
解説 多くの人が一斉に帰宅すると歩道を人が埋め尽くし、幹線道路は大渋滞を起して緊急自動車の通行の妨げになります。また、余震でビル等の外壁が剥がれたり、屋外広告物が落下する危険があります。 |